

# 「もっといいロータリークラブになろうよ」 山形南ロータリークラブ会報

世界への  
プレゼントになろう

Rotary



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：K.R. ラビンドラン 2800地区ガバナー：酒井 彰 ガバナー補佐：水上 進  
 会長：鈴木 政康 幹事：中村 篤 会報・史料委員会 委員長：熊谷 昌和  
 委員：粟嶋 学 佐藤 直人 新野 義章 間木野 仁美

## RI会長メッセージ



### 「世界へのプレゼントになろう」

2015-16年度国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン 氏

私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心な歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にはないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のこともありません。結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずで、私たちが、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで、「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「世界へのプレゼントになろう」

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



## 地区テーマ

# 「世界へのプレゼントになろう」を受けて

国際ロータリー第2800地区  
2015～2016年度ガバナー

酒井 彰氏

人生で最も大切な時、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くしてテーマを全うして欲しいと会長が2015-2016年度ガバナー達にエールを送られました。内容は、大役すると以下の五点に纏められます。

1. ポリオ撲滅運動、闘い必ず勝利しよう  
25年前、125カ国毎日1,000人以上の犠牲者が、2014年は三カ国333人に激減エンド・オブ・ポリオにはもう一歩です。
2. 会員増強を最優先にしよう  
職業分類は会員増強の足を引っ張る障害になることが多い会員の増強がロータリーの成功であり、なおざりにすると自ら危険に陥ります。
3. ブランディングに取り込もう  
昨年ロータリーのイメージ新するために、ロータリーのロゴマークも一新しました。広報活動も徹底して頂きたいです。
4. ロータリー財団への寄付推進。
5. 新会員を迎え入れ積極的な参加を奨励いたします。  
以上を私なりに咀嚼して大きく三つに纏めました。

1. 会員増強
2. ロータリー財団寄付
3. ブランディング

全てが、ロータリーの心と原点を理解、納得出来ないと実際行動に移せないものと確信しております。そして、私の基本方針テーマを決定しました。



## 2015-2016 RIテーマ

### 「世界へのプレゼントになろう」

—Be a gift to the world—

(日本語訳「世界へのプレゼントになろう」)

#### ◆基本理念◆

ロータリーの縁を活かそう

#### ◆基本方針◆

友情と奉仕の再確認、スタンドからグランドへ

私の敬愛する幕末の志士、高杉晋作の辞世の句におもしろき、ことの無き世を、おもしろく、すみなすものは、心なりけり激動の波乱の人生この世を面白く充実させるのは心一つだと私なりに解釈してます。

自分の話で誠に恐縮ですが私はこれまで、J C 理事長、観光協会青年部会長、商工会議所会頭等色々な組織をお預かりしました。

世界百ヶ国も訪問も致しましたし、会社も数社立上げました。この様な体験から、RCを客観的に見れると多少自負しております。

組織には軍隊や企業の様な特定の目的の為に作られた機能体と集团的組織に所属し構成員が満足を得る目的の共同体この二つに分かれ、RCは当然共同体に属すると考えます。

又、世界を旅してますと一番良かった国はと良く聞か

れます。

でも、夫々の国に歴史と文化、光と影があり魅力があるのです。

世界中にあるクラブも同じでは無いでしょうか。ロータリーもライオンズもソプロチミストもJCも理念と目的を持って頑張っている、何方が優っているとは限らないと考えてます。ただ、事実は会員の皆さんは何かの縁でRCのメンバーになられたのです。

友人の熱心な勧誘の為、異業種の人達と出逢う為、純粋に社会に貢献する為、中には自分のステータスの為、上手く商売に結びつける為等、動機はイロイロあったと思いますが、縁によって結ばれています。

それと人間集団には2-6-2の法則があります。大胆にRCをメンバー分析すれば20%は熱心な、60%は普通に楽しみ、20%は付き合いや義理の会員となるのでしょうか、でも全てのメンバーが大切なRC構成員なのです。

1905年2月23日米国に誕生しました、シカゴロータリークラブはいまや、世界約200国に34,000クラブ120万人に拡大されております。理屈抜きにそれだけRCは魅力や楽しみや喜びがあり、多くの会員がその事を発見出来ていないのではないのでしょうか？それを、見出す為にはやはりスタンドからグランドへつまり観客からプレーヤーになって欲しいのです。

このRCグランドの縁を活かし積極的な出逢いとアクションを起こす事で魅力を見出す事ができると私は確信しています。

原点は友情と奉仕ですが、ロータリーを全て理解なんて困難でしょう。先ず、やれるところからまず一歩踏み出して頂けないでしょうか、その一歩踏み出す勇気をクラブだけで無く県内に世界に広めれば理想と思います。

結縁、尊縁、随縁も私の座右の銘であります。人生というのはひとつの縁だと思えます、縁を結び、縁を尊び、縁に従う会員一人一人が自分でロータリーの縁を活かし、時間と言う障害の中でRCライフの中に豊かな人生を謳歌して頂く事を切望しております。

#### ●具体的に●

年次計画書の重要視 ⇒ 原点に回帰

ロータリーイメージ向上作戦 ⇒ 地域との密着

活動する楽しみと喜び ⇒ 感謝と感動

その為に、縁とグランドに入ってもらう為に、自分の体験と思いを話してもらう。(参加しやすい環境づくりと自分の体験を話す事によって、縁と動機が生まれる)

#### 【テーマ】

- ①私がロータリーに入会して  
よかった事、感動、感激した事
- ②私がロータリーに入会して  
いやな事、目的、理念が実践に合わなかった事
- ③私がロータリーに入会して  
今なおロータリーを退会しないている事